

# 横浜駅東口地区開発（ステーションオアシス） の取り組み状況について

## 1 趣旨

横浜駅東口地区開発（ステーションオアシス）については、平成 18 年度から大規模地権者である日本郵政、JR 東日本、京浜急行電鉄、横浜市で構成する「横浜駅東口地区開発推進協議会」で、再開発事業の施行を目指して具体的な検討を進めています。

今回、概ね合意形成が図れた部分について地区計画を定める都市計画手続きを始めます。

## 2 地区計画として決定する主な内容

### (1) 地区計画の目標

本地区では、エキサイトよこはま 2 2 などの上位計画に基づき、

- ・ 東口駅前広場再編による羽田空港へのアクセスなど交通結節点の強化
- ・ 国際都市の玄関口としてふさわしい魅力と賑わいのある都市空間の形成
- ・ デッキ・地上・地下をわかりやすく結び、円滑な移動や回遊、賑わいを創出する象徴的な結節空間である「ターミナルコア」の形成
- ・ 線路上空デッキと連携した歩行者動線の確保による回遊性の向上
- ・ 災害に強い安全な都市空間や先進的な環境都市の形成

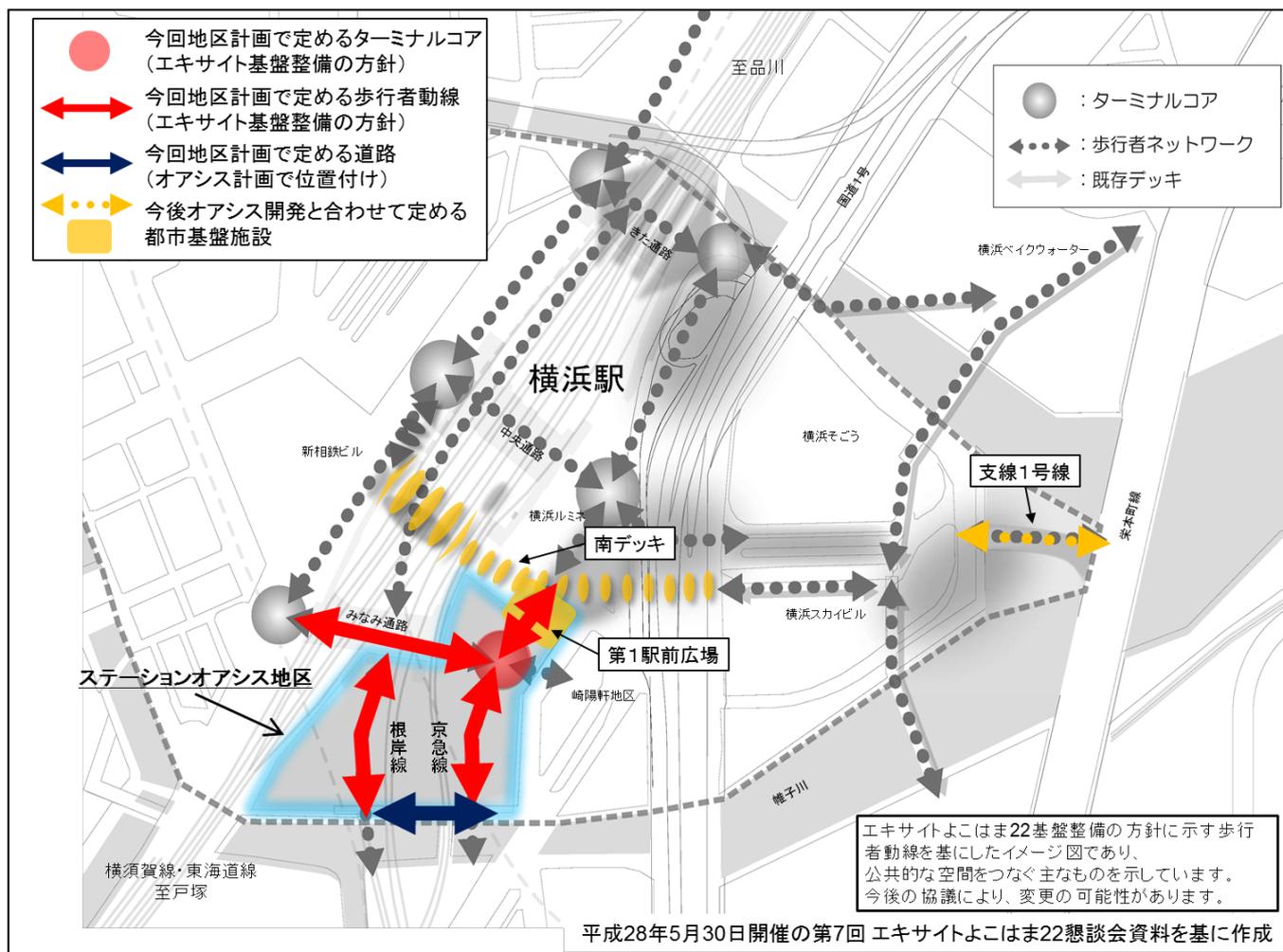
を目指し、良質な開発計画の誘導を図ることを目標とします。

### (2) 地区施設

- ・ ターミナルコア（右図中の赤色丸）
- ・ 歩行者用通路（右図中の赤色実線）
- ・ 道路（右図中の青色実線）

平成 28 年 9 月 12 日  
 建築・都市整備・道路委員会資料  
 都市整備局

### 【主な歩行者ネットワーク】



### 3 今後の取り組み

平成 28 年度内に素案説明会を開催して地域の皆様へご説明させていただき、**29 年度中の都市計画決定**を目指します。

建築物などの施設計画については引き続き検討を進め、地区内の権利者の皆様との合意形成を進めます。そのうえで、民間開発と基盤整備を一体的に進められるよう、順次、都市計画手続きを行います。

また、民間開発とあわせて整備する駅前広場や線路上空デッキ（南デッキ）などについて、引き続き関係者との協議調整を進めます。